

そうけい、いま、つくってます！！

特集

大学生と市長のお話会を行いました！

総合計画（そうけい）に若者の意見を取り入れていくために

前は包括連携協定を結ぶ芦屋大学、神戸女学院大学、武庫川女子大学の3大学の学生を対象とした授業とアンケートの内容をご紹介しました。

ご回答いただいた方のうち、今回のお話会に参加を希望された大学生5名と意見交換を行った様子についてご紹介します。

学生の経験や実感に基づく様々な意見が出ました！

昨年12月26日（木）、市役所にて大学生と市長とのお話会を実施しました。



防災対策、文化芸術の推進、少子高齢化対策、AI活用といった幅広いテーマについて、1時間にわたって活発に意見交換が行われました。その中から、いくつかの内容を簡単にご紹介します。

防災対策では、学生の出身地の事例で、地域住民全員で行う避難訓練の様子についてご紹介いただきました。阪神・淡路大震災から30年の節目を迎え、震災の経験をどのように次世代に伝え、自分ごとの取組として促すことができるか、防災対策のあり方について改めて考える機会となりました。

文化芸術の推進では、芦屋市は住民投票で「国際文化住宅都市」の選択をし、まちづくりにおいて文化を大切にしてきたまちであることに触れました。

今回の最上位計画である総合計画の策定には、文化推進基本計画を統合し、ともにまちづくりの基礎とする予定です。

市長は大学生の経験や実感に基づく意見に、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。また、今回の参加を受け、学生からは、「新しい視点が得られた」という声や「今後も若者の意見を取り入れてほしい」といった声がありました。今後の総合計画策定にあたり、参考にいたします。



今回は、先日行われた第3回職員WTについて、大学生アンケートと市民意識調査の結果を題材とし、より回収率を上げるための方法や、総合計画認知の必要性の意見交換を行いましたので、その内容を詳しく紹介します。

現行の芦屋市総合計画はこちら
・第5次総合計画前期基本計画
（第2期創生総合戦略）



総合計画後期基本計画の策定過程・
バックナンバーはこちら

